

2026年度入学者向け 中学一般入試 傾向と対策

国語

【傾向】

国語の出題内容は大きく4つあります。

- ・物語的文章
- ・説明的文章
- ・本校オリジナルの問題
- ・漢字

【対策】

・物語的文章では、登場人物の心情を正確に読み取る力を見ます。仕草や表情からも、作中人物が何を考えているのかを読み取ることができます。常に頭の中に、情景を思い浮かべながら読む習慣を身につけておきましょう。出題傾向は過去問に準じます。

・説明的文章では、書かれている内容を正確に読み取ることや、全体を通して筆者が言いたいことを読み取ることなどが、学習のメインとなります。語句の意味・言い換え・空欄補充・正誤問題など、バリエーション豊富な聞き方であなたの読解力を確認します。読み飛ばさずに正確に読んでいく習慣をつけてください。過去問をよくやっておきましょう。本文をよく理解した上で、自分の経験に照らし合わせて答えるもの・与えられた情報を取捨選択し文章形式で答えるものもあります。

・四字熟語・慣用表現・自己表現・論理思考など、年度によって独自の問題を出題します。

・小学校修了程度、漢検5級程度までの漢字をしっかり復習しておきましょう。

算数

【傾向】

- ・Ⅰ期Ⅱ期ともに大問6題、50分で100点満点です。
- ・前半は計算や図形の基本問題や1行問題です。
- ・後半は思考力・読解力を必要とする問題です。
- ・例年出題が多いのは、濃度・場合の数・速さ・平面図形・空間図形です。

【対策】

- ・基本的な計算問題や1行問題を確実に正答できるように問題演習を行いましょう。工夫して計算する問題や1行問題・図形問題の対策は過去問も使いながら行いましょう。日々の問題演習が得点に繋がります。
- ・後半の問題は、問題文の読解力や思考力が問われます。基礎内容に加えて、普段の演習から式だけではなくグラフや図を用いて、言葉で伝える習慣をつけておくことが必要となります。
- ・解答用紙に答えを書くときは、丁寧に書きましょう。判定できない文字は、不正解となります。

理科

【傾向】

- ・問題の内容は、例年と大きな変更はありません。25分間で50点満点です。
- ・物理、化学、生物、地学の各分野からまんべんなく出題されます。実験や身近な現象、基本的な計算力を問う問題が出題されます。

【対策】

- ・基本的な知識や計算能力をつけておきましょう。
- ・計算問題は、早く確実に解けるように、繰り返し練習しておきましょう。
- ・観察・実験・グラフ・表などに関する基本問題も練習し、苦手分野をなくしておきましょう。短時間に、基本問題を正確に答えていく力が必要です。

社会

【傾向】

- ・時事問題に関連させた出題が多いです。
- ・歴史・地理・公民のそれぞれの分野から出題されます。
- ・基礎的な知識を問うものだけでなく、資料(写真やグラフなど)を用いた問題を出題します。
- ・また、論述問題も出題します。自身の考えを述べる問題もあります。
- ・時間は25分間で50点満点です。

【対策】

- ・歴史分野は、時代の流れをよくつかみ、各時代の出来事や人物名をしっかりと確認しましょう。
- ・地理分野は、日本地図や各都道府県の位置、雨温図などのグラフや表を読み取れるようにしましょう。
- ・公民分野は政治のしくみや日本国憲法の内容などをしっかりと確認しましょう。
- ・歴史用語や人名、地名など漢字で書けるようにしましょう。